

Ⅲ. 高校一年次での研究旅行に向けての指導

長谷川 弘

1. まえがき

今年度の高1は高2で行われる研究旅行の訪問先が今までの広島から長崎へと変わる。ここでは、その研究旅行地が大巾に変わったことによる1年次での研究旅行に向けての活動、旅行委員への指導を書き記しておきたい。

2. 広島から長崎に変わった経過

5～6月、研究旅行地の場所を変えるなら夏休み前の方が良い(昨年度の反省)とのことから、研究旅行委員会を中心に何度か討議を重ねる。旅行地を変更させること条件としては、①「研究」に適した場所か、②現在の「広島精神」をどう発展・継承させるのか③費用は今までと同程度、ということであった。その中から、「長崎」が候補としてあがる。費用等も調べたが、今までとそんなに変わらない、ということが分かり、7月教官会議に提出・認められる。

3. 旅行委員への指導・活動と学年への働きかけ

①12月8日(火) 1・2年合同研究旅行委員会を開く。2年生から出された今年度の研究旅行の反省として、

- 1). バスでは班別に座った方が点呼がしやすい。
- 2). 班ごとの研究発表は各班5分だったが、どうしても時間延長しやすい。そのため最後の方に発表する班は3分ぐらいでやめてもらわなければならなかった。発表時間を各班7分にならないか。
- 3). レク係は事前準備不足。雨が降ったこともあり、失敗してしまった。
- 4). 副班長は仕事量が少ないので、できるだけ多くの仕事を割りあてる。

などがあつた。それから研究発表風景を撮影したビデオを観る。

②12月10日(木) 1年学年合同HR。2年の旅行委員長から、今年の研究旅行の反省と、来年に向けての準備等のアドバイス(とにかく早くから活動せよ、等)を話してもらう。次に研究発表を撮影したビデオを観る。

③12月15日(木) 研究旅行委員会。各旅行委員1人1

人に、長崎市から取り寄せた「長崎旅行の手引き」を持たせ、冬休み中に調べておくことを分担する。調べることとしては、

1. キリシタン文化
2. 西洋文化
3. 中国文化
4. 長崎の人物
5. 原爆と平和
6. 寺と神社
7. 長崎港と造船業
8. 長崎と学問

④1月20日(水) 研究旅行委員会。各自調べてきたものを印刷して配布する。これからのHR日程についての説明と、明日のHR(ビデオ)についての注意を与える。

⑤1月21日(木) 各HRで長崎から取り寄せたビデオを観る。その際、旅行委員から各クラス生徒に、「漠然と観るな。長崎の何についてもよいから、興味・関心を持つように観ること。」と説明をさせた。

⑥1月26日(火) 研究旅行委員会。冬休み中に各自調べてきたものの学習会。説明できるようにするためである。

⑦1月28日(木) 各HRで旅行委員の調べてきたものを配布し、発表・説明をする。

⑧2月2日(火) 研究旅行委員会。次のHRに向けてのアンケート項目を考え、アンケートを作成する。

⑨2月4日(木) ⑦の残りとして、アンケートを行う。

⑩2月9日(火) 研究旅行委員会。アンケート結果を調査し、その結果をクラスに発表する時の旅行委員からのコメントを話し合う。例えば、「長崎で何を研究したいか。」の問に対して、「長崎の料理」と答えている生徒に、どうコメントしたらよいか、等。

⑪2月18日(木) 各HRでアンケート結果の発表を行い、生徒の研究旅行の注意を喚起する。(アンケート項目とアンケート結果を最後に載せておく。)また研究旅行の統一テーマを各クラスで出させる。各クラスから候補として、

1. 長崎の繁栄と悲劇を見つめて
2. 長崎その鎖国、開国、原爆の歴史
3. 世界の中の長崎

があがる。決定は2年の新旅行委員にまかせることになった。(2年の旅行委員会で、3.「世界の中の長崎」

が統一テーマに決まる。)

4. おわりに

1年次では研究旅行に向けての学習を、おもにHRを通して行なわれてきた。2年次ではさらに「教科」を通しての指導をしていく必要がある。その際、要求されるのが、各教科間の緊密な連絡と、教科での「総合化」への努力である。具体的に言うならば、本校で伝統化している「平和教育」「反原子力教育」を、どの教科が、どういう教材を通して、どのように指導していくのか。高2教科担任に要求される課題であろう。

I. 高1研究旅行アンケート結果

2.18

1. 先輩から先輩たちの行った研究旅行の話を個人的に聞いたことはあるか

YES 27人

(・おみやげの話 ・発表会のこと ・萩の町がおもしろかった ・研究の下調べ ・忙しかった など)

NO 106人(合同HRでの2年生の話を聞いた感想)

(・みんながまとまらないと大変(16人) ・研究旅行という意味が理解できた(6人) ・楽しくおもしろそう(12人) ・調べて発表する時間が少なく難しい、長崎に場所が変わるので不安、下調べに時間がかかり大変、めんどくさいがいい経験になる、大変だが中味がある、旅行委員が大変、 など)

(・めんどくさい ・今までの研究旅行にこだわらなくてよい ・もっと遊びたい ・つまらん)

2. 研究旅行に対してどれだけ期待しているか。

①大変楽しみ 40人 ②楽しみでない 10人 ③実感がわかない 72人

3. 研究旅行での楽しみ

①研究 12人 ②見て歩き 88人 ③移動時のおしゃべり 20人 ④部屋でのおしゃべり 39人 ⑤その他(遊び1. オランダ村 3. 買い物4)

4. 今年萩・広島からかわったことに対して

①いいことだ(長崎にいきたかった、研究材料が多い、新しい試みだから) 54人
②不満(忙しい、往復に時間がかかる、長崎だけ、広島より金がかかる、広島・四国・沖縄のほうがよい等) 9人
③大変だ・不安・責任が重い 8人
④その他(広島より遠いからよい、旅行委員が大変4人)

5. ビデオ・プリントに比較して長崎に対してどれぐらい知っているか。

①だいたい知っていた 6人 ②半分ぐらい知っていた 22人 ③あまり知らない 62人 ④全く知らない 33人

6. 長崎で研究したいこと

①原爆 ②出島 ③シーボルト塾 ④寺・教会 ⑤港 ⑥キリシタン ⑦路面電車 ⑧長崎古代史 ⑨名古屋と比べて ⑩造船 ⑪方言 ⑫貿易 ⑬戦国時代の他国との貿易 など他にもたくさんあったが、次のように書いた人は心配である。
・食べ歩き ・ゲームセンター ・長崎の映画
・名産品 ・名物 ・カステラ ・長崎の料理